

2012年度実績の概要

2013年5月15日

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ

2012年度総括

- SMFG連結(7,941億円)、SMBC単体(6,178億円)ともに当期純利益で過去最高を計上

- 中期経営計画の財務目標値を一年前倒しで達成

- SMBCのマーケティング部門をはじめ、グループ会社総じて堅調
- クレジットコストが低水準
- SMBCの税コスト負担の軽減
(税効果会計に係る例示区分を4号但書から2号へ変更:影響額 900億円程度)

1株当たり情報 (SMFG連結)

	12年度	前年比	13年度予想
1株当たり当期純利益	586.49円	+212.23円	428.40円
ROE(株主資本ベース)	14.8%	+4.4%	
配当	120円*	+20円	110円
うち普通配当	110円	+10円	110円

* 三井住友フィナンシャルグループ発足10周年記念配当10円を含む

	13/3月末	12/3月末比
1株当たり純資産	4,686.69円	+830.32円

格付 (SMBC)

Moody's	Aa3 / P-1
S&P	A+ / A-1
Fitch	A- / F1
R&I	AA- / a-1+
JCR	AA / J-1+

1ノッチ格上げ
(JCR : 12/9月、
R&I : 12/12月)

2012年度業績サマリーと2013年度業績予想

P/L

		(億円)	12年度	前年比	上期予想	13年度 予想
SMFG 連結	粗利益		27,929	+1,984		
	連単差		12,528	+1,908		
	うち資金利益		13,926	+513		
	うち資金利益以外		14,003	+1,471		
	営業経費	▲	14,963	▲749		
	与信関係費用	▲	1,731	▲518		
	経常利益		10,737	+1,382	5,300	10,300
	連単差		4,029	+1,627	1,700	3,500
	当期純利益		7,941	+2,755	2,900	5,800
	連単差		1,763	+1,357	600	1,500
SMBC 単体	業務粗利益		15,401	+76	7,600	15,400
	うち国債等債券損益		1,138	▲387		
	経費 ^{*1}	▲	7,277	▲82	▲3,700	▲7,400
	業務純益 ^{*2}		8,124	▲6	3,900	8,000
	与信関係費用	▲	195	△391	▲100	▲800
	株式等損益	▲	357	▲205		
	経常利益		6,709	▲245	3,600	6,800
	当期純利益		6,178	+1,398	2,300	4,300

業績予想の前提^{*3}

		12年度 実績	13年度 予想
3ヶ月TIBOR		0.32%	0.27%
FF金利(誘導水準)		0.00~ 0.25%	0.00~ 0.25%
為替相場	(円/米ドル)	94.01	90.00
	(円/ユーロ)	120.66	125.00

SMBC以外の主要グループ会社の 連結当期純利益寄与(概数)

	(億円)	12年度	前年比
SMBCコンシューマーファイナンス ^{*4}		480	+760
SMBC日興証券		450	+270
三井住友ファイナンス&リース		190	+10
三井住友カード		180	+30
SMBC Capital Markets		180	+140
セディナ		130	+510
SMBCフレンド証券		100	+60
SMBC信用保証		100	▲230

*1 臨時処理分を除く *2 一般貸倒引当金繰入前

*3 名目GDP成長率：12年度予測 +0.4%、13年度予測 +2.6% (13年5月時点の日本総合研究所の予想値)
(参考)13年3月末 日経平均株価：12,397.91円

*4 2011年12月 連結子会社化、2012年4月 完全子会社化

2012年度セグメント別実績

	(億円)	業務粗利益	前年比	経費	前年比	連結業務純益 ^{*1}	前年比
合計		28,024	+1,923	▲14,445	▲699	11,662	+1,523
銀行業		17,986	+347	▲8,769	▲256	8,913	▲8
うち三井住友銀行		15,401	+76	▲7,277	▲82	8,124	▲6
リース業		1,204	+183	▲508	▲82	693	+15
うち三井住友ファイナンス &リース ^{*2}		1,148	+157	▲517	▲85	590	▲39
証券業		3,415	+636	▲2,473	▲228	922	+414
うちSMBC日興証券		2,689	+468	▲1,949	▲148	734	+331
コンシューマーファイナンス業		5,265	+903	▲3,312	▲393	1,222	+1,125
うち三井住友カード		1,831	+38	▲1,326	▲60	448	+17
うちセディナ		1,535	▲66	▲1,182	△23	137	+414
うちSMBCコンシューマー ファイナンス ^{*2,3}		1,658	n/a	▲662	n/a	519	+788
その他事業等 ^{*4}		154	▲146	617	△260	▲88	▲23

*1 連結業務純益＝三井住友銀行業務純益(一般貸倒引当金繰入前)＋他の連結会社の経常利益(臨時要因調整後)＋持分法適用会社経常利益×持分割合－内部取引(配当等)

*2 連結計数を記載

*3 11年度第3四半期以前は22%出資の持分法適用会社、第4四半期は連結子会社

*4 各セグメント間の内部取引として消去すべきものを含む

部門別実績(SMBC単体)*1

部門別利益

		(億円)	11年度	12年度	前年比※2
個人部門	粗利益		3,837	3,749	+44
	経費		▲2,895	▲2,844	△54
	業務純益		942	905	+98
法人部門	粗利益		4,229	4,122	▲50
	経費		▲2,228	▲2,167	△23
	業務純益		2,001	1,955	▲27
企業金融部門	粗利益		2,126	2,080	+26
	経費		▲382	▲396	▲6
	業務純益		1,744	1,684	+20
国際部門	粗利益		1,974	2,405	+330
	経費		▲649	▲729	▲84
	業務純益		1,325	1,676	+246
マーケティング部門	粗利益		12,166	12,356	+350
	経費		▲6,154	▲6,136	▲13
	業務純益		6,012	6,220	+337
市場営業部門	粗利益		3,193	2,953	▲240
	経費		▲192	▲210	▲15
	業務純益		3,001	2,743	▲255
本社管理	粗利益		▲34	92	▲34
	経費		▲849	▲931	▲54
	業務純益		▲883	▲839	▲88
合計	粗利益		15,325	15,401	+76
	経費		▲7,195	▲7,277	▲82
	業務純益		8,130	8,124	▲6

プロダクト別粗利益

		(億円)	12年度	前年比※2
ウチ	国内貸出金収益		4,599	▲225
	国内円預金収益		1,482	+1
	国際部門金利関連収益*3		1,461	+240
金利収益			8,141	▲6
ウチ	投資信託		501	+32
	一時払終身保険		124	+18
	平準払保険		122	+47
個人向けコンサルティング関連収益			800	+55
ウチ	シンジケーション関連		614	+115
	ストラクチャードファイナンス*4		567	+77
	不動産ファイナンス*4		294	▲9
投資銀行ビジネス関連収益*4			1,729	+181
ウチ	デリバティブ販売		197	+34
	振込・EB		920	▲5
	外為収益		433	+1
	国際部門非金利収益*3		1,004	+88
非金利収益			4,215	+356
マーケティング部門粗利益			12,356	+350

仕切りレート等変更調整: ▲160億円

(表面ベース) 前年比: +190億円 <

期中平均貸出残高・スプレッド

	(兆円、%)	平均残高		スプレッド	
		12年度	前年比*2	12年度	前年比*2
国内貸出		45.9	▲1.7 *5	1.04	▲0.01
ウチ個人部門		15.1	▲0.2	1.43	▲0.02
ウチ法人部門		16.3	▲0.2	1.06	▲0.07
ウチ企業金融部門		11.6	▲0.2	0.66	▲0.01
国際部門運用資産*6		1,470億ドル	+171億ドル	1.18	+0.10

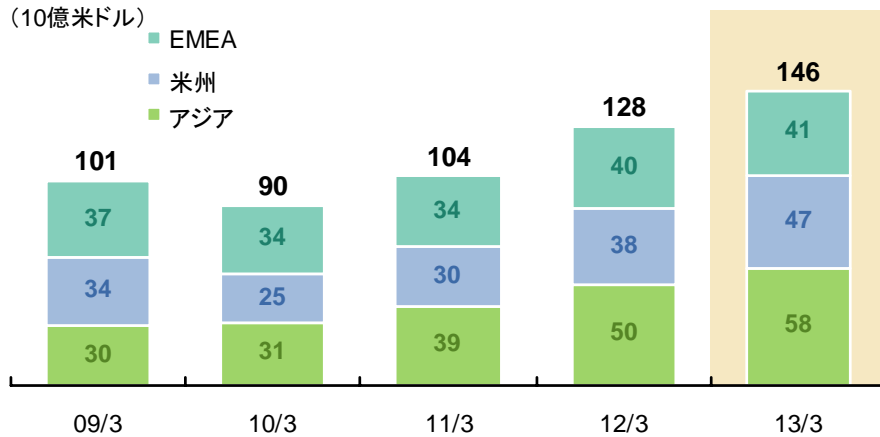
*1 内部管理ベース *2 仕切りレート等の変更調整後ベース

*3 香港・台北支店における日系企業取引収益を含む *4 金利収益を含む

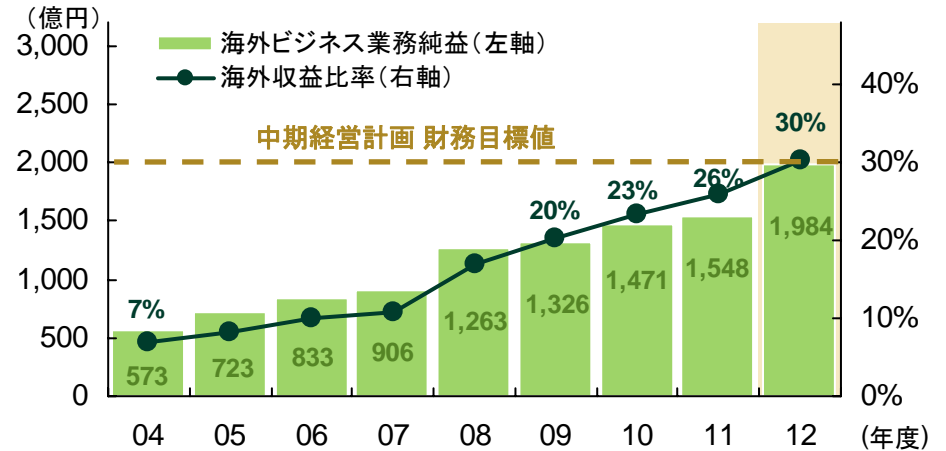
*5 うち交付税特別会計等政府向け貸出の減少▲1.1兆円 *6 貸出金・貿易手形・有価証券の合計

海外ビジネス

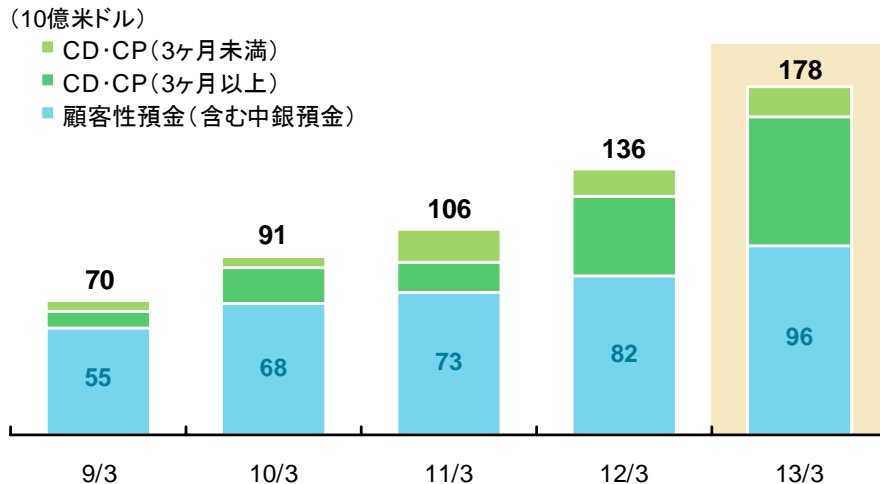
海外貸出金残高*1



海外ビジネス業務純益、海外収益比率推移*2



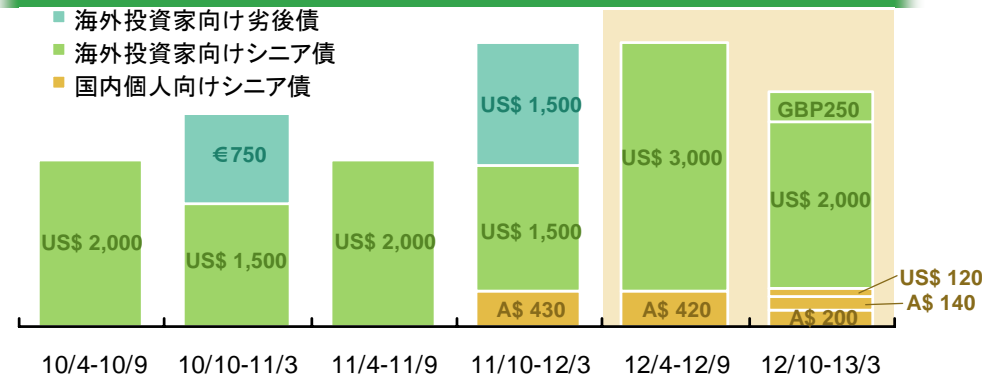
海外預金等残高*1



外貨資金調達が多様化

- 初の取組みとして、海外投資家向け英ポンド建シニア債(13/3月)、2通貨(米ドル及び豪ドル)建での国内個人向けシニア債(13/3月)、シドニー支店による豪ドル建Transferable Deposits*3(13/2月)を発行

外貨建債券発行額(百万通貨単位)



*1 内部管理ベース(各期末実績レートにて換算)。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行(中国)の合算

*2 内部管理ベース。SMBC及び海外主要子銀行の合計。11年度以降の海外収益比率は、中期経営計画前提の1ドル=85円ベース

*3 譲渡性預金の一種で、オーストラリア国内では社債と同等の扱いで流通している証券

銀証連携

SMBC日興証券(連結)業績推移

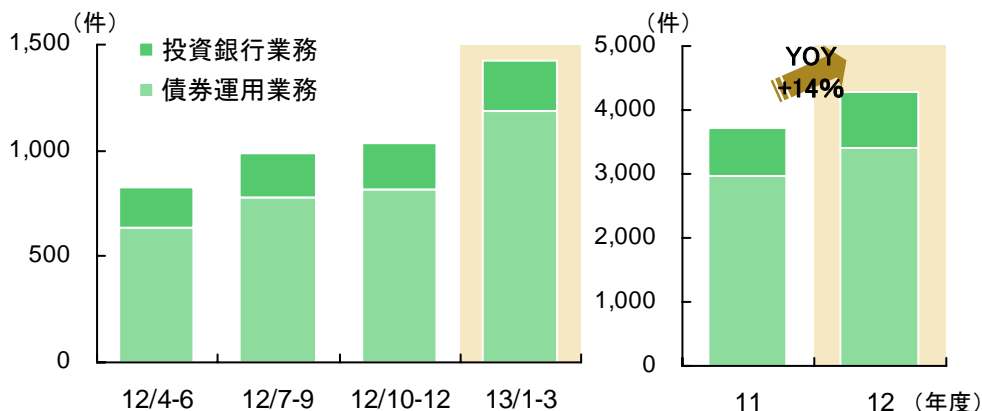
(億円)	11年度	12年度	前年比
純営業収益	2,288	2,747	+459
販売費・ 一般管理費	▲1,851	▲2,002	▲151
経常利益	445	757	+312
当期純利益 ^{*1}	194	457	+263

リーゲテーブル(12年4月-13年3月、SMBC日興証券)

	順位	シェア
株式関連 (ブックランナー、引受金額) ^{*2}	4位	11.9%
円債総合 (主幹事、引受金額) ^{*3}	5位	11.1%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、取引金額) ^{*4}	4位	17.8%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、案件数) ^{*4}	5位	2.6%

銀証連携

SMBCからSMBC日興証券への紹介件数



トピックス(SMBC日興証券)

- 銀証口座連携サービス「バンク&トレード」(12/10月)、遺言信託代理店業務開始(12/11月)など、リテール証券業務の銀証連携を推進
- シンガポールで日本株ブローカレッジとM&Aアドバイザー業務を開始(12/10月)
- アナリストランキング(会社別)^{*5}で2位を獲得
- 中期経営計画を公表(13/4月)
 - 計数計画(2016年3月期)^{*6}
純営業収益: 3,300億円、経常利益: 1,000億円

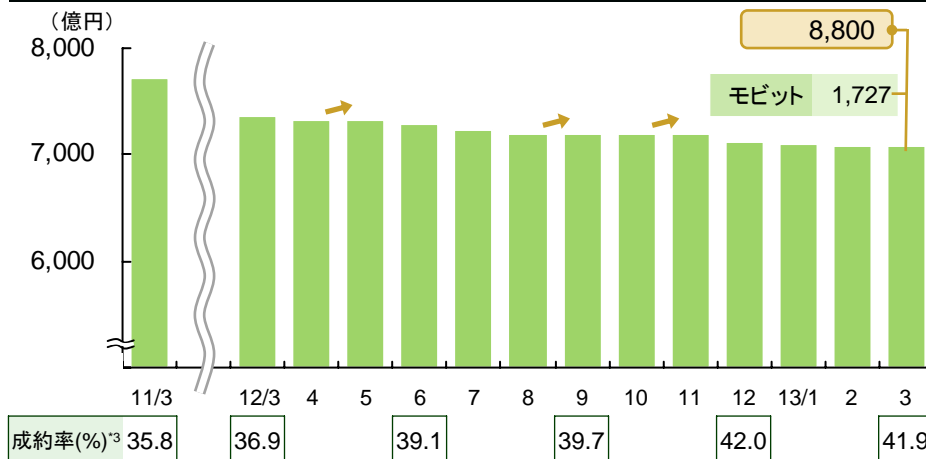
*1 2011年度は法人税率の引下げ等の税制改正影響▲48億円を含む *2 出所: トムソンロイターの情報を基にSMBC日興証券が作成(日本企業関連、グループ合算ベース)
 *3 出所: SMBC日興証券(事業債、財投機関債・地方債[主幹事方式]、サムライ債) *4 出所: トムソンロイター(日本企業関連公表案件(不動産案件除外))
 *5 出所: 日経ヴェリタス(2013年3月24日付) *6 内部管理ベース。SMBC日興証券単体及び海外(ロンドン、ニューヨーク、香港、シンガポールの証券業務)の合算

■ コンシューマーファイナンス事業 (SMBCコンシューマーファイナンス)

SMBCコンシューマーファイナンス(連結)業績

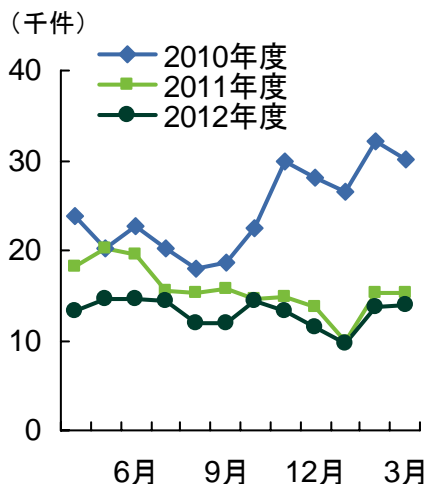
(億円)	11年度	12年度	前年比
営業収益	1,961	1,870	▲91
経常利益 ^{*1}	▲1,554	518	+2,072
当期純利益 ^{*1}	▲1,695	481	+2,176
営業貸付金残高	7,593	7,428	▲165
保証残高	5,815	6,596	+781
うち地方銀行等向け	1,974	2,327	+353

営業貸付金残高推移^{*2}

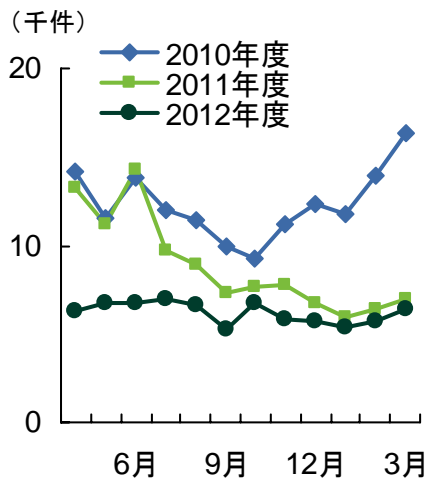


取引履歴開示と利息返還請求件数^{*2}

取引履歴開示請求件数の推移



利息返還請求件数の推移

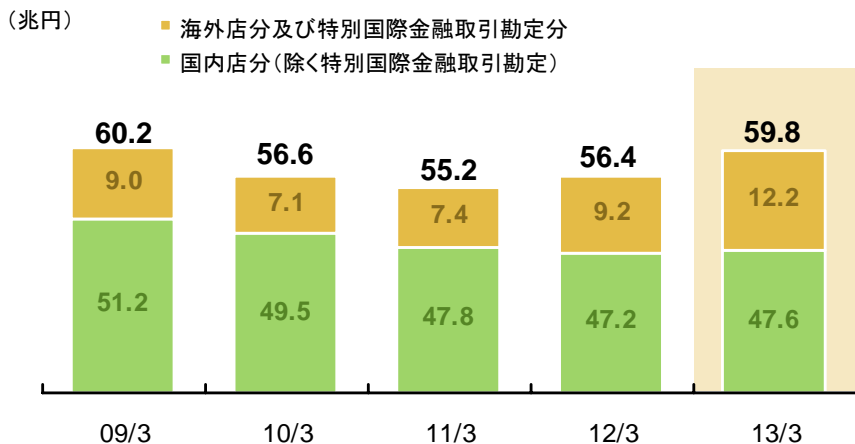


海外事業

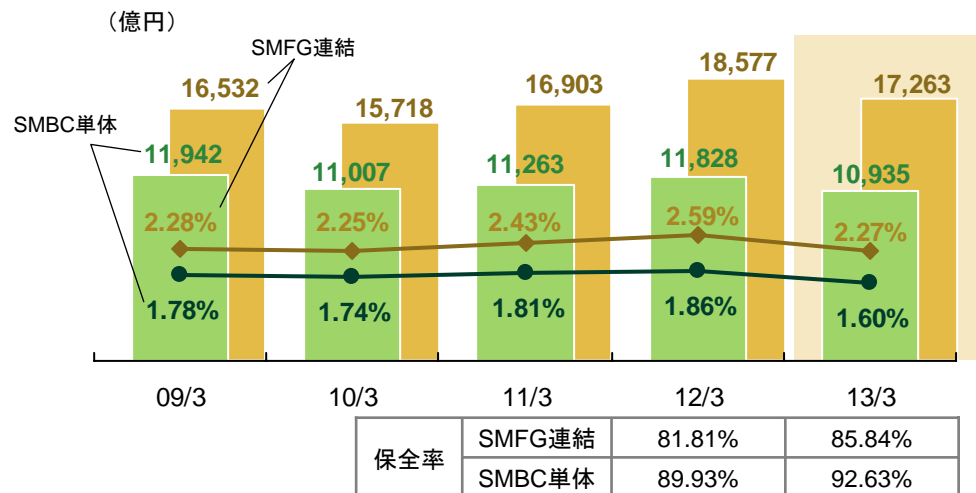


バランスシート関連主要項目の時系列推移

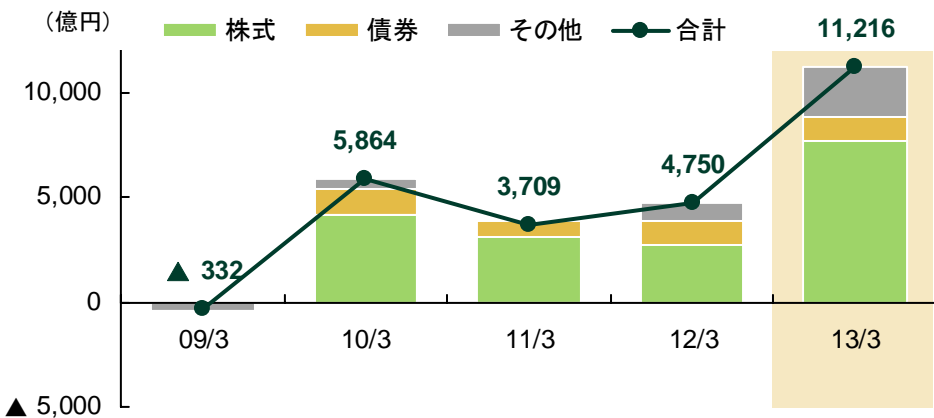
貸出金残高 (SMBC単体)



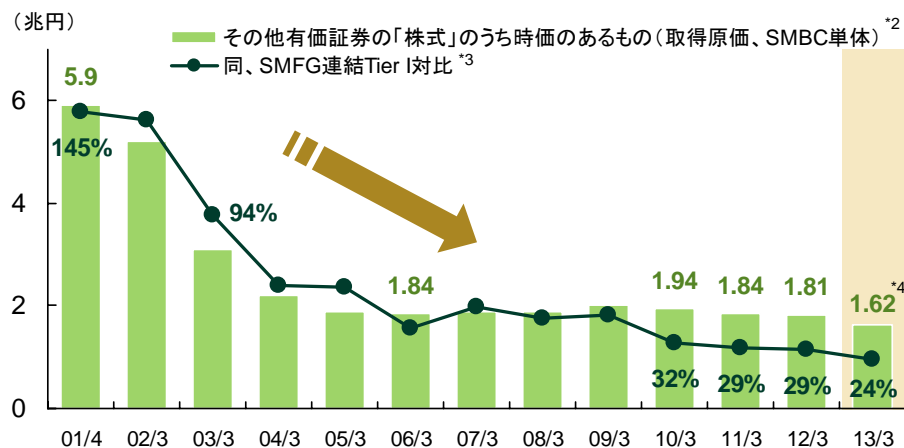
不良債権残高及び同比率*1



その他有価証券評価損益 (SMFG連結)



その他有価証券の「株式」のうち時価のあるもの



*1 不良債権比率=金融再生法開示債権残高(除く正常債権)/総与信

*2 非ヘッジ残高

*3 02/3月末まではSMBC連結Tier I対比。13/3月末はパーゼルⅢベースのSMFG連結Tier I対比

*4 プロミス株式交換に伴うSMFG株式増加分を除く

■ 資本・リスクアセット (SMFG連結)

自己資本比率 (規制基準)

	13/3月末 (速報値)
(億円)	
普通株式等Tier1資本	58,559
うち 普通株式に係る株主資本	55,859
うち 普通株式等Tier1資本に係る少数株主持分	2,689
Tier1資本	68,290
うち 適格旧Tier1資本調達手段	14,633
うち その他Tier1資本に係る調整後少数株主持分	1,276
うち 為替換算調整勘定	▲ 975
うち 調整項目	▲ 5,203
Tier2資本	23,570
うち 適格旧Tier2資本調達手段	18,309
うち その他有価証券及び土地の含み益の45%	5,066
うち 調整項目	▲ 767
総自己資本	91,860
リスクアセット	624,261
普通株式等Tier1比率	9.38%
Tier1比率	10.93%
総自己資本比率	14.71%

リスクアセット*1

	12/3月末	13/3月末 (速報値)	12/3月末比
(億円)			
信用リスクアセットの合計額	459,765	567,753	+107,988
マーケットリスク相当額÷8%	11,742	20,313	+8,571
オペレーショナルリスク相当額÷8%	38,925	32,562	▲6,363
経過措置による算入額		3,633	+3,633
(参考)アウトライヤー比率*2	2.6%	1.0%	▲1.6%
合計	510,432	624,261	+113,829

主な変動要因:

- バーゼルⅢ導入影響 約6兆円増加
- 貸出金増加・円安影響等 約5兆円増加

普通株式等Tier1比率 (完全実施基準*3(試算値))

	13/3月末
(億円)	
規制基準との差異概数	
その他の包括利益累計額	6,650
少数株主持分(経過措置対象分)	▲ 1,300
普通株式等Tier1資本に係る調整項目	▲ 10,180
普通株式等Tier1資本(完全実施基準)	53,730
リスクアセット(完全実施基準)	620,630
普通株式等Tier1比率(完全実施基準)	8.6%

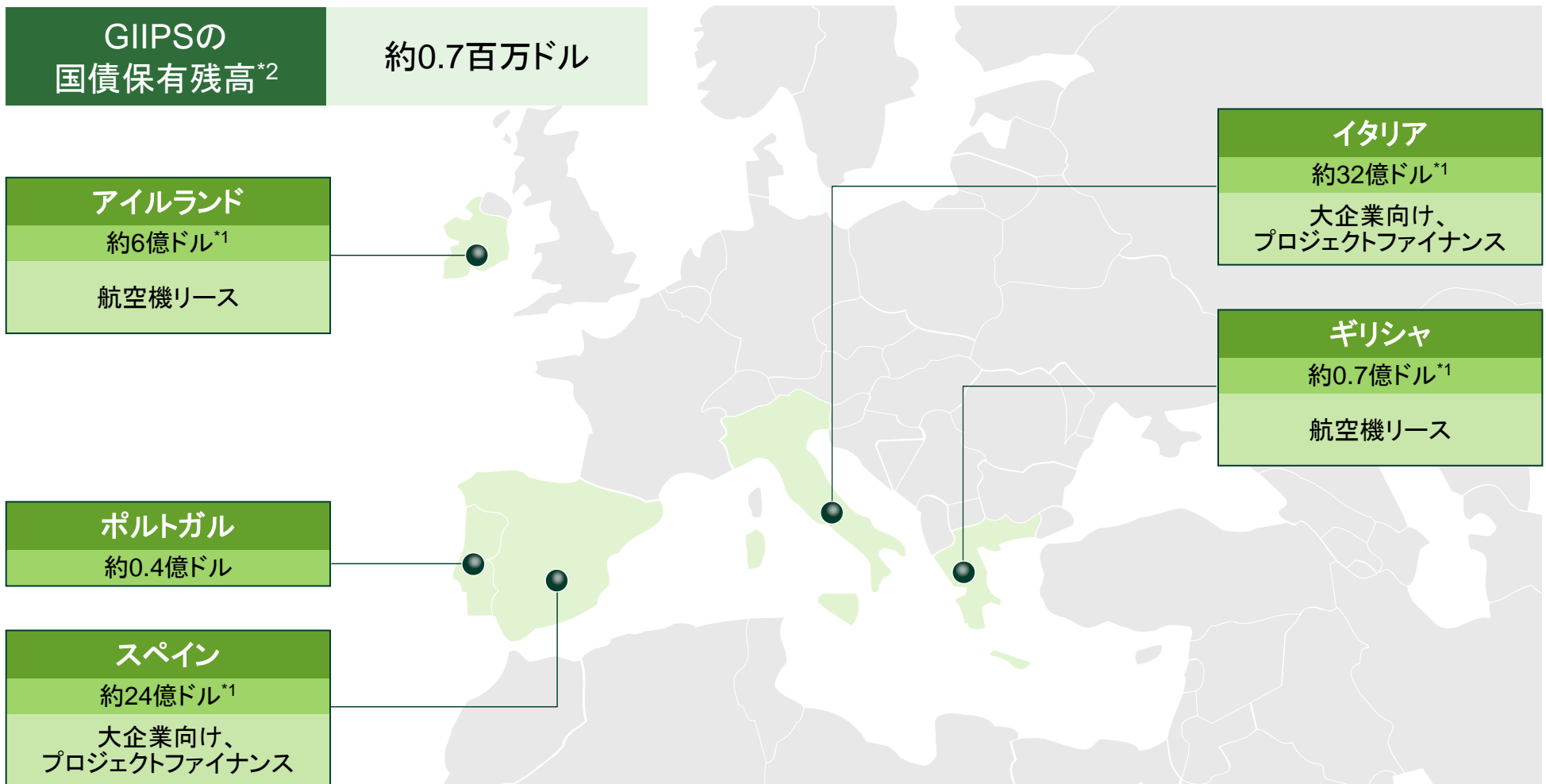
*1 12/3月末はバーゼルⅡ、13/3月末はバーゼルⅢ規制基準

*2 SMBC連結ベース

*3 19/3月末の定義に基づく

GIIPS向けエクスポージャー

13年3月末のGIIPS向けエクスポージャー: 約63億ドル*1



(SMFG連結)

*1 SMBC Aviation Capital連結化影響は合計約4.9億ドル。うち、アイルランド約3.3億ドル、スペイン約1.1億ドル、ギリシャ約0.4億ドル、イタリア約0.1億ドル

*2 証券子会社がセカンダリー業務で保有。イタリア約0.70百万ドル、ギリシャ約0.02百万ドル

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、保有株式に係るリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。